

▼まずは4学区の皆さんの統合に向けた意思統一が必要。その後、場所や予算などを検討することになるが、校舎完成までは3年から4年はおそらくかかるものと思っている。

▽建設場所にもよると思うが、通学方法はどうか。

▼遠距離通学費の補助、路線バス定期券の交付、スクールバス運行などが考えられる。

▽統合後は児童数が増え、子どもたちがとまどうのでは。

▼統合が決まると、4つの小学校間で交流事業を行い、徐々に友だち関係を築きながら統合に向かうといった準備をして行く。現在修学旅行も一緒だが、運動会などもそうすることになるだろう。

▽（意見）統合した場合、校舎は木造で木の温もりがあるものにしてほしい。

【合川東小学校（平成20年2月12日）】

▽統合はやむをえない。心配なのは登下校の安全対策。仮に合川中付近だとすると東小児童は橋をわたることにもなり、安全上の配慮をお願いしたい。

▼教育委員会では児童の安全安心を第一に考えたい。

▽これまで1学級20人前後で先生方の目が行き届いていた。また、全国

学力調査でも秋田県がトップだったが、これは先生方の努力の賜物だろう。人づくりの観点から、統合後もこれまでと変わらない配慮をお願いしたい。

▼1学級の人数が多くなると、「チームティーチング」といって複数の先生による指導を展開する。今回の学力調査の結果は、子どもたちの基本的な生活習慣や人の話をしっかりと聞く姿勢ができていくことが大きい。このことは人数の多少には関わらない。将来もこういう点でしっかり育てていきたい。

▽洪水の危険がないところに建設してもらいたい。

▼学校は災害時の避難場所という役目もあり、十分検討したい。

【合川北小（平成20年2月14日）】

▽再編計画では1学級20人を割らない程度を確保したい、とある。ただ、40人近い人数だと先生の負担が大きく、目が行き届かないのではないかと。

▼グループ活動や理解度に応じ、チームティーチングを行い、少人数編成で行う体制をとっている。そのため、統合後の規模になると加配の先生が配置される。

▽校舎の場所は決まっているか。

▼統合することで意見がまとまった

後、地域の方々の話し合いによって決定することになる。

▽合川中付近については水害のことを考えると誰も「よし」といわないのではないかと。高校統合後の合川高の校舎を活用することは考えられないか。

▼災害への対応、そして樹木等の環境も考え、まずはよいアイデア・意見を出していただき、話し合いで決めていきたい。

▽現校舎は古くなってきているとのことだが、耐震性はどうか。

▼合川地区は4校とも耐震診断の対象。校舎を残す場合は診断と補強工事が必要となる。しかし、財政事情から予算措置できていないのが現状。

▽建設費はどれくらいかかるのか。

▼校舎で8億から8・5億、体育館で2・5億、このほか、プールやグラウンド、用地などを考えると15億円の見込み。放課後児童クラブ、給食設備なども考えると20億近くになるのではないかと。

【浦田小学校（平成20年2月19日）】

▽森吉地区と合川地区の人口規模は同じだが、合川地区は統合1校となるのに対し、森吉地区は前田と米内沢の2校の計画。1校でもよいのでは。

▼前田小は合併前から決議されていた

たもので、地元では将来児童数が減少することを理解した上での建設意だった。

▽前田小との統合は考えられなかったか。

▼学区を旧町の区割りで考えている。ただ、浦田小学区のうち浦田は米内沢地区、桂瀬は前田地区に属するが、在学中の児童が別々にならないで、一緒に米内沢小に行ってほしいとの考え。みなさんがいっしょに前田小、もしくは桂瀬は前田ということであれば、柔軟に対応したい。

▽複式学級解消にこだわらず、少人数であっても子どもにとって良い教育環境を考えてほしい。

▼今の法律では、1年生は2年生を含めて8人を超えないと、他の学年は2学年合わせて16人を超えないと複式学級になってしまう。

▽米内沢小学校も古い校舎だと聞いているが。

▼合川東、米内沢は耐震補強を急ぐ必要がある。後期計画では新築を計画している。

▼なお、統廃合をきっかけに地域がバラバラにならないように願っている。

◇鷹巣地区外来センター◇

全会一致で「必要なし」

北秋田市医療整備（外来センター）検討委員会

2月6日に発足した北秋田市医療整備（外来センター）検討委員会（奈良正人委員長）は27日、鷹巣地区外来センターについて、「全会一致で設置の必要はない」と岸部市長に答申しました。

平成17年9月に策定した北秋田市医療整備基本構想では、市民病院の開院に合わせ、北秋中央病院跡地に「鷹巣外来センター」を整備する計画が盛り込まれていました。

市では平成21年10月の北秋田市民病院開院時の外来センターの必要性と、北秋中央病院が廃止になることにより、中心商店街の活性化への影響なども懸念されることから、

この結果、検討委員会では、鷹巣地区は個人開業医が16あり、医療レベルの高い専門医で構成され、北秋中央病院が無くなったとしても外来患者の引き受けについては十分対応可能である。

▽鷹巣地区は1次医療が充実しており、更なる外来センターは必要ない。

▽新病院の医療機能及び個人開業医の専門診療科等を広く周知してほしい。

▽市民の新病院へのアクセスについては、バス輸送も確保してほしい。なお、地域医療全体を考慮し、市民病院と個人開業医等を回る循環バス形式が望ましい。



北秋中央病院跡地の利用についての意見も多数出されました

北秋田医師会、開業医、商工団体、市民から広く意見を伺うことにしたものです。

検討委員会は、今月6日と22日の2回開催され、基本構想策定時からの変更点についての資料ほか、鷹巣地区の個人開業医を含めた受診体制に関する資料などを参考に審議を行ないました。

このほか北秋中央病院廃止にもなう跡地利用について意見が多数出されました。

岸部市長は「答申結果を尊重して結論を出したい」とコメントを出しました。

市長日誌

◇2月16日～28日



- 2月17日（日）▽市民プール一日開放へ参加（市民プール）
- 2月19日（火）▽2月19日付け人事異動にかかる辞令交付式（市役所応接室）
- 2月20日（水）▽北秋田市上小阿仁村生活環境施設組合正副管理者会議および議会に出席（森吉支所）▽北秋田市上小阿仁村病院組合正副管理者会議（森吉支所）▽北秋中央病院運営委員会に出席（ホテル松鶴）
- 2月22日（金）▽第59回全国植樹祭第4回北秋田市実行委員会に出席（交流センター）▽北秋田市民医療整備検討委員会へ出席（中央公民館）
- 2月23日（土）▽北秋田市体育協会主催「スポーツ賞授与式」に参加（文化会館）
- 2月24日（日）▽第15回秋田文化フォーラムに出席（東京法曹会館）
- 2月25日（月）▽衆議院議員野呂田芳成氏の在職30年並びに「思い切れば必ず遂げるなり」出版を祝う会に出席（能代市平安閣）
- 2月26日（火）▽公立米内沢総合病院職員に対する説明会に出席（米内沢総合病院）▽同労組との団体交渉に出席（同）
- 2月28日（木）▽平成20年北秋田市議会3月定例会に出席（市議事堂）